



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 株式会社京都きもの友禅ホールディングス (旧会社名 株式会社YU-WA Creation Holdings) 上場取引所 東
コード番号 7615 URL <https://www.kyotokimonoyuzenholdings.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅香 竜也
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 (氏名) 渡部 真由 (TEL) 03-3639-9191
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績 (2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	4,031	△23.1	△503	—	△515	—	△526	—
2024年3月期第3四半期	5,241	△20.2	△454	—	△466	—	△479	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △526百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 △479百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△44.30	—
2024年3月期第3四半期	△42.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	7,897	2,375	30.1	169.12
2024年3月期	8,914	2,710	30.4	240.77

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 2,375百万円 2024年3月期 2,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	3.00	—	0.00	3.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,492	△21.8	△672	—	△686	—	△828	—	△58.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	15,298,200株	2024年3月期	12,498,200株
2025年3月期3Q	1,250,886株	2024年3月期	1,241,154株
2025年3月期3Q	11,892,440株	2024年3月期3Q	11,234,067株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、「株式給付型E S O P」が保有する当社株式(2025年3月期3Q 335,800株、2024年3月期 335,800株)が含まれております。また、「株式給付型E S O P」が保有する当社株式(2025年3月期3Q 335,800株、2024年3月期3Q 341,154株)を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(会計方針の変更に関する注記)	P. 8
(セグメント情報等の注記)	P. 8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の持ち直しや、インバウンド需要の回復などから穏やかに回復しました。一方で、円安に伴う物価上昇やエネルギー資源の価格高騰、米国の今後の政策動向による世界経済への影響等、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループでは、2025年3月期を収益性改善のための再生フェーズと位置づけ、組織改革のためのプロジェクトを発足いたしました。下半期より各プロジェクトの運用を開始し、精緻な分析に基づく広告・販促施策の改善や販売プロセスの見直しに着実に取り組んでおりますが、収益化には一定の期間を要するため、効果発現の時期としては来期初を見込んでおります。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比23.1%減の4,031百万円となりました。利益面においては、下半期以降、仕入フローや在庫管理体制の見直しを推進した結果、粗利益率は第2四半期連結累計期間と比較して1.0pt改善いたしました。また、販売費及び一般管理費についても、コスト削減を目的としたプロジェクトチームを立ち上げ、売上に対する抜本的なコスト構造の見直しを図っております。固定費を含めた経費全体の削減により、販売費及び一般管理費総額は当第3四半期連結累計期間において前年同期比19.7%減となりました。しかし、それらの効果に比し前述のとおり売上高が減少したことから、営業損失は503百万円（前年同期は営業損失454百万円）、経常損失は515百万円（同経常損失466百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は526百万円（同親会社株主に帰属する四半期純損失479百万円）となりました。

「和装事業」における売上区分別の状況は次のとおりです。

（一般呉服等）

既存顧客を対象とした「一般呉服」等については、複数のプロジェクトチームを立ち上げ、各催事の収益管理、集客管理体制の構築、顧客属性に応じたアプローチ方法の体系化、呉服着用機会創出による新規顧客獲得に取り組んでおります。まずは一部エリアで試験運用を開始しており、全店にその効果が波及するまでには一定期間を要するため、足元の受注状況としては改善には至っておりません。その結果、当第3四半期連結累計期間における一般呉服等の受注高は、前年同期比19.9%減となりました。

（振袖）

「振袖」販売及びレンタルについては、今期より店舗マーケティング戦略及び全社マーケティング戦略の2つのプロジェクトで戦略を展開しております。それぞれのプロジェクトにおいて、各店舗のオフラインマーケティングと、WEB・SNSを中心としたデジタルマーケティング施策を推進し、従来のダイレクトメール中心の振袖広告施策から脱却し、効率的かつ抜本的な見直しを進めております。当第3四半期連結累計期間における振袖関連の受注高は前年同期比11.0%減となりましたが、10～12月における受注高としては前年同期比2.6%増となっており、受注高は回復傾向で推移しております。

（写真撮影・オンラインストア）

「写真撮影」関係については、更なる和装店舗との連携強化及び固定費の削減を目的とし、当第3四半期より「写真スタジオクラネ」と既存和装店舗の併設計画を進めております。当第3四半期連結累計期間においては、商品構成の見直しによる単価アップと和装店舗からの連携強化による稼働率上昇より、売上高は前年同期比35.4%増となりました。「オンラインストア」については、広告運用の効率化により自社サイトの売上が好調に推移したこと、及び成人式前の駆け込み需要を想定した商品ラインナップの充実化により、売上高は前年同期比23.7%増となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、「和装事業」の単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて13.3%減少し、5,879百万円となりました。これは、主に売掛金が272百万円、商品及び製品が90百万円それぞれ減少したことと、短期借入金の一部返済を行ったことを主要因として現金及び預金が519百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.5%減少し、2,017百万円となりました。これは、主に差入保証金が100百万円、敷金及び保証金が41百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ11.4%減少し、7,897百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10.1%減少し、5,200百万円となりました。これは、主に前受金が236百万円、契約負債が67百万円それぞれ増加し、預り金が176百万円、短期借入金が517百万円、前受収益が59百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて23.4%減少し、321百万円となりました。これは、主に資産除去債務が84百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて11.0%減少し、5,521百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて12.4%減少し、2,375百万円となりました。これは、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ96百万円増加したこと、また、親会社株主に帰属する四半期純損失が526百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、本日(2025年2月12日)に公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度末において和装店舗運営事業における売上高の大幅な減少が継続した結果、多額の損失を計上し、金融機関からの借入金について財務制限条項に抵触いたしました。このことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象及び状況が存在していると認識しております。当社グループは、2025年3月期を抜本的な収益性確保のための再生フェーズと位置付け、コスト構造の見直し、販売戦略等を中心に据え、業績回復に向けた施策を優先的かつ速やかに取り組むとともに、資金面においても、当第3四半期連結会計期間末における資金残高の状況及び中長期的な資金繰りを検討した結果、当面の事業活動の継続性に懸念点はないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,477,979	1,958,399
売掛金	2,523,154	2,250,748
商品及び製品	1,158,272	1,067,851
原材料及び貯蔵品	25,510	19,804
前払費用	508,116	437,381
その他	85,592	144,969
流動資産合計	6,778,626	5,879,153
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	6	25,821
有形固定資産合計	6	25,821
無形固定資産		
	0	227
投資その他の資産		
差入保証金	1,455,250	1,355,250
敷金及び保証金	674,537	632,812
その他	6,283	3,792
投資その他の資産合計	2,136,071	1,991,855
固定資産合計	2,136,077	2,017,904
資産合計	8,914,704	7,897,057

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	116,556	123,321
短期借入金	1,300,000	782,581
リース債務	24,656	20,131
未払法人税等	12,768	11,180
前受金	799,831	1,036,653
預り金	2,419,684	2,242,699
賞与引当金	51,100	20,515
前受収益	407,863	348,217
契約負債	226,950	294,815
その他	425,211	320,015
流動負債合計	5,784,622	5,200,133
固定負債		
リース債務	19,270	5,383
株式給付引当金	1,554	1,554
資産除去債務	398,865	314,367
固定負債合計	419,690	321,305
負債合計	6,204,313	5,521,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	196,013
資本剰余金	464,292	560,305
利益剰余金	2,877,034	2,350,235
自己株式	△730,935	△730,935
株主資本合計	2,710,390	2,375,618
純資産合計	2,710,390	2,375,618
負債純資産合計	8,914,704	7,897,057

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	5,241,361	4,031,294
売上原価	2,091,929	1,641,619
売上総利益	3,149,432	2,389,674
販売費及び一般管理費	3,603,996	2,893,331
営業損失(△)	△454,564	△503,656
営業外収益		
受取利息	92	402
受取手数料	1,064	1,226
補償金収入	980	—
雑収入	1,932	1,852
営業外収益合計	4,069	3,481
営業外費用		
支払利息	12,735	12,864
支払手数料	2,000	2,000
雑損失	1,483	521
営業外費用合計	16,218	15,385
経常損失(△)	△466,713	△515,561
特別利益		
固定資産売却益	173	—
特別利益合計	173	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△466,539	△515,561
法人税、住民税及び事業税	10,196	11,236
法人税等調整額	2,516	—
法人税等合計	12,713	11,236
四半期純損失(△)	△479,253	△526,798
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△479,253	△526,798

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純損失(△)	△479,253	△526,798
四半期包括利益	△479,253	△526,798
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△479,253	△526,798
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月1日から2024年12月31日の間に、新株予約権の行使による払込を受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ96,013千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が196,013千円、資本剰余金が560,305千円となっております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

「II 当第3四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社は「和装事業」の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社は、従来「和装店舗運営事業」「その他事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より「和装事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、2021年3月期より和装関連の周辺事業として新たに開始したオンライン着付教室事業やネイルサロン事業等の「その他事業」を一部終了もしくは縮小し、当社グループの事業展開、経営資源配分等における意思決定のプロセスや実態を考慮した結果、「和装事業」の単一セグメントとして開示することが、当社グループの経営実態をより適切に反映するものと判断したためであります。

この変更により前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	47,940千円	845千円